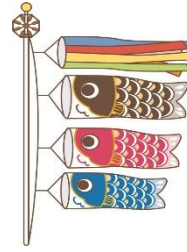


川越高校図書館だより 2021 年 5 月号



ゴールデンウィークも終わり、また新しい気持ちで学校生活が始まります。
今年最初の中間考査も近づいてきましたね。頑張ってください！

本の情報がいっぱい！—「奥付」について—

皆さんは本の最後の「奥付」を見たことがあるでしょうか。

〈本のプロフィール〉とも呼べる部分で、調べ物などで
参考文献などを明記するときなどにとっても役立ちます。

今回は、奥付の見るべき部分について紹介したいと思います。

① 本の正式なタイトル

一番最初に書いてあるものです。ここを見ればサブタイトル
も含めた正式なタイトルが分かります。

② 出版年と「人気度」

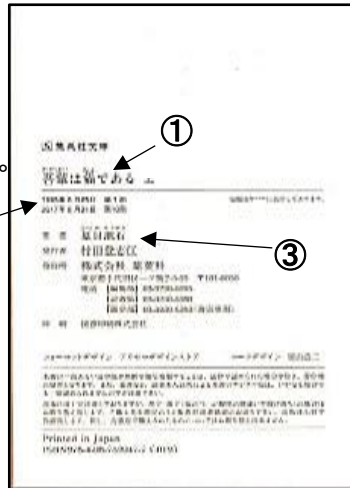
タイトルのすぐ下に書いてあるものです。ここを見れば本が
いつ出版されたか、どれくらい人気があるかが分かります。

「刷」は印刷された回数なので、数が多いほど売れているということになります。

③ 著者と出版者（発行者）

著者は「本を書いた人」、出版者（発行者）は「本を発売しているところ」です。

奥付には出版者（発行者）の住所も確認できます。



図書委員のオススメ本

【担当 1-3、1-7】



『病院で死ぬということ』

山崎章郎/著 文藝春秋

まだ、病院側が癌であることを患者に「告知しない」のが当たり前だった
時代、延命に疑問を持つ患者、病院に不信感を抱く患者、癌とは知らず、
いつか治ると信じ苦痛に耐え続ける患者……。さまざまな思いを抱えたまま
亡くなっていった患者を、医師である筆者目線で見るとノンフィクションです。

『ビブリア古書堂の事件手帖』

三上延/著 KADOKAWA

ひっそりと営業している古本屋「ビブリア古書堂」。店主は本が大好きな
若くてきれいな女性・篠川栞子。彼女は極度の人見知りで初対面の人とは口も
きけません。しかし、古書の知識は並大抵ではなく、古書に関する話になると
とってもおしゃべりに！その知識を生かして古書に関する謎を解き明かして
いきます。新たな本に出会える温かい文芸ミステリーです！ぜひ、読んでみて
下さい。

図書館前（図書委員セレクト）特集

テーマ ミステリー



今月の特集

Go To 読書

本の世界で旅しよう！

まだまだ旅行も楽しめないこの頃。少し
でも旅行気分を味わえたらと思い、都道
府県ごとに舞台となっている本を集めま
した！リストと塗り絵付きです。

